

香川が生んだ現代女流画家の先駆

藤川栄子展



配(くぼる) 1962年作

平成17年

2月22日(火)

▶ 3月13日(日)

町立塩江美術館／
企画展示室&ホール

- 開館時間:午前9:00～午後5:00(最終日は午後4:00迄)
(但し、入館は午後4:30迄)
- 入館料:大人300円・高大生150円・小中生80円
(常設展観覧料を含む)
(団体は、20名以上2割引)
- 休館日:月曜日
- 主催:町立塩江美術館
- 共催:香川県文化会館



静物 1982年作

藤川栄子展

平成17年
2月22日(火)
▶3月13日(日)

町立塩江美術館／
企画展示室&ホール

ごあいさつ

このたび香川県文化会館の協力を得て、郷土出身で現代女流画家の先駆者として活躍した藤川栄子の展覧会を開催するはこびとなりました。

栄子は、香川出身の彫刻家藤川勇造と出会い生涯をともにすることになり、その後、彼の影響などから画家への道に力を注ぎました。しかしながら、当時の社会的背景から女流画家が男性画家に比べて軽視されていることに異議を唱えて、女流画家の地位向上にむけて11人の女流画家達と共に、女流画家協会を設立しました。全国から、日本画・洋画・彫刻・工芸・書など様々な芸術の分野で活動している女流作家の賛同を得て、わが国初の女性だけの総合美術展「現代女流美術展」を開催するなどの活動を行い、女流画家達へ作品発表の場を広げました。

今展は、その栄子の画業を振り返ると共に、香川及び日本の美術史発展の一端を垣間見ていただける機会になればよいのではないかと企画いたしました。

この機会に是非ご覧いただければ幸いです。

藤川栄子略譜



- 1900年(明治33年) 高松市に生まれる(旧姓:坪井)
- 1918年(大正 7年) 香川県立高松高等女学校卒業
- 1920年(大正 9年) 香川女子高等師範学校中退
- 1923年(大正12年) 彫刻家藤川勇造と結婚
- 1927年(昭和 2年) 第14回二科展「サボのある静物」初入展
- 1928年(昭和 3年) 第3回協会展奨励賞を受賞
- 1935年(昭和10年) 夫、勇造が病により逝去

1946年(昭和21年) 三津勲子、桂ユキ、柳田英代、瀧山蘭子、榎沢文子、中谷見ユキ、坂井清江、坂井照、佐伯栄子、森田栄子、藤川栄子の11人の女流画家により「女流画家協会」を結成

- 1947年(昭和22年) 二科会会員
- 1956年(昭和31年) 第21回香川県美術展覧会委員(第30回、33回)
- 1960年(昭和35年) 二科会理事
- 1962年(昭和37年) 第67回二科展「静物」、絵理大賞賞を受賞
- 1963年(昭和38年) 11月28日逝去(享年63歳)
- 1964年(昭和39年) 第69回二科展に「静物」(絶作)出品



変化 1929年作



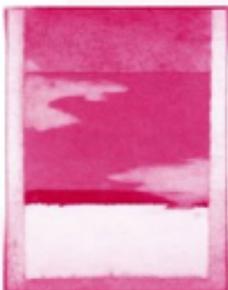
栄子像
藤川 勇造作 1923年作



水の橋(1) 1927年作



家の故事帳 1954年作



しく 1963年作



町立塩江美術館

〒761-1611 香川県香川郡塩江町大字安原上602番地
TEL (087) 893-1800 FAX (087) 893-1833

- ことせんにくバス(塩江・穴吹方面行) 高松駅より
塩江バスターミナル下車、徒歩5分
- 無料駐車場完備